

```markdown

# \*\*第4話：「見えない敵」\*\*  
(全10ページ想定)

> \*\*概要\*\*

> 第3話でスタートアップ企業のAI技術が盗まれ、投資ファンド＝オルビス・インシディアの策略が露わに。新人たちやCIPHERは、その後始末と原因究明に追われる。  
> さらに、\*\*“国家レベルの陰謀”\*\*や\*\*“鹿島の不可解な行動”\*\*が徐々に表面化し、チーム内には緊張感が高まる。  
> \*\*月城との会話でCIPHERのCIA時代を暗示し、鹿島がより深い闇に足を踏み入れる回\*\*。

---

## \*\*Page 1\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 前回ラストの翌朝、オフィスでスタートアップからのクレームや連絡が殺到。AIソースコード流出にショックを受けている。  
- \*\*目的\*\*: 新人たちが責任を感じつつも、CIPHERと月城が冷静に対処しようとする導入。

### \*\*Image Prompt (Page 1)\*\*

`morning in a tense office, phone calls and urgent messages, sense of crisis, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 橘と白石がデスクで電話対応に追われる。書類やモニターが散乱。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石 (慌てて)\*\*: 「はい、申し訳ありません…すぐに確認して折り返します…！」
  - \*\*橘 (心の声)\*\*: 「なんてこった…AI技術が盗まれたなんて…どうするんだ…」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 月城が二人に落ち着くように声をかける。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*月城\*\*: 「大丈夫、我々の責任範囲を含めて説明しましょう。まずはセキュリティ対策の報告書を準備するわ。」
  - \*\*橘 (少しホッと)\*\*: 「はい…すみません、動揺してしまっで…」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが淡々とPCをチェック、敵の痕跡を追跡している雰囲気。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER (心の声)\*\*: 「やはり“あの組織”が裏にいる可能性が高い…この手口、どこかで見たことがある…」

---

## \*\*Page 2\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: CIPHERが過去のログや情報を照合し、海外の投資ファンドが絡んでいる疑いを示唆。  
- \*\*目的\*\*: オルビス・インシディアの存在をチームにほのめかす。鹿島はその話題を避けるような反応を示す。

### \*\*Image Prompt (Page 2)\*\*

`office desk with intense log analysis, male leader referencing foreign fund data, subtle tension, anime style coloring`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: CIPHERが資料を広げ、地図や海外投資ファンドの名前が載っている。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*CIPHER\*\*: 「“グローバル・ゲートウェイファンド” …表向きは投資会社だが、裏ではサイバー諜報活動の資金源だという噂がある。」
    - \*\*白石（戦慄）\*\*: 「投資会社がスパイ行為…？」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: 鹿島が画面をチラ見して固い表情。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*鹿島\*\*: 「…そんなの、噂レベルだろ？」
    - \*\*CIPHER（チラリと鹿島を見る）\*\*: 「噂にしては手口が一貫してる。過去にも似た技術流出事件が起きている。」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: 月城が2人（CIPHER & 鹿島）のやり取りを見守る。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*月城（心の声）\*\*: 「（やっぱり、鹿島くん…様子が変。何か隠してる…？）」

---

## \*\*Page 3\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story（概要）\*\*

- \*\*場面\*\*: チームミーティング。和菓子店のEC案件にも再び小トラブルが発生した情報が入り、敵が複数のプロジェクトを同時に狙っているとわかる。
- \*\*目的\*\*: “国家レベルの陰謀” への布石。複数企業のDXを妨害し、日本IT産業を揺さぶる計画が進行していると匂わせる。

### \*\*Image Prompt（Page 3）\*\*

`office meeting with multiple project boards, sense of multiple simultaneous attacks, tension building, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: ホワイトボードに“和菓子店EC” “AIスタートアップ” “次期案件”などのキーワードが並ぶ。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*白石\*\*: 「和菓子店の方も、また不審なアクセスがあったみたいです…他の案件にも広がるかもしれませんね。」
    - \*\*橘\*\*: 「いったい何が目的なんだ…？」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: 月城が推測を語る。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*月城\*\*: 「DX推進中の企業ばかり狙われている感じがするわ。もしこのまま被害が拡大したら、日本のIT産業全体が揺らぐかも…。」
    - \*\*CIPHER（苦い表情）\*\*: 「……」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:
  - 1. \*\*構図\*\*: 鹿島が視線を下に落とし、内心苦しそう。
  - 2. \*\*セリフ\*\*:
    - \*\*鹿島（心の声）\*\*: 「（やはり…“あの人たち”の狙いはそこにあるのか…）」

---

## \*\*Page 4\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 月城とCIPHERの2人きりの会話シーン。CIPHERの過去（CIA時代のかすかなエピソード）をほのめかす。
- \*\*目的\*\*: 読者に「CIPHERとオルビス・インディアの因縁」「CIA離脱の経緯」をさらに匂わせる。

### \*\*Image Prompt (Page 4)\*\*

`quiet office corner, man and woman talking seriously, mention of cia or secret past, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 月城がデスクサイドでCIPHERを呼び止める。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*月城\*\*: 「CIPHER…昔の任務で似たようなケースを見たことがあるんでしょう？」
  - \*\*CIPHER (目を伏せる)\*\*: 「……まあな。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERの横顔アップ。少し影が落ちる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「あの頃は… “Project ATLAS” の下で、各国のIT技術が狙われていた。日本も例外じゃなかった。」
  - \*\*月城 (目を見開く)\*\*: 「やっぱり…あなたがCIAを辞めたのは、そのせい…？」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが否定も肯定もせず、月城を見つめる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「……今は多くは語れない。だけど“見えない敵”が動いてるのは確かだ。俺たちで防がなきゃならない。」
  - \*\*月城 (決意)\*\*: 「…わかった。私も力になる。」

---

## \*\*Page 5\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: 鹿島が外部に呼び出される。相手は国内官公庁の元官僚（宗方）の使者か、あるいは直接会う宗方かもしれない。
- \*\*目的\*\*: 鹿島が組織の一端を担わされている様子。家族人質設定などの苦悩をもう少し描く。

### \*\*Image Prompt (Page 5)\*\*

`urban alley or discreet location, male engineer meeting formal man, shadowy mood, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が人目を避けるようにビルの裏路地へ行く。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方 (スーツ姿)\*\*: 「お待ちしていましたよ、鹿島さん。」
  - \*\*鹿島\*\*: 「……」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 宗方が笑みを浮かべて書類を差し出す。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*宗方\*\*: 「今度は官公庁DXの情報をいただきたいんですよ。あなたの会社が請け負う予定のプロジェクト、あるでしょう？」
  - \*\*鹿島 (苦しげ)\*\*: 「そんな機密、教えられるわけが…」
  - \*\*宗方\*\*: 「家族…大丈夫かな？」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が悔しそうに拳を握る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*鹿島 (心の声)\*\*: 「(くそ…また家族を盾に…)」
  - \*\*宗方 (薄笑い)\*\*: 「君は優秀だから、期待してますよ。」

---

## \*\*Page 6\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: オフィスに戻る鹿島。橋と白石が“何かおかしい”と気づき始めるも、確信がない。
- \*\*目的\*\*: 鹿島への疑念を少し強める。2人の目線で「鹿島さん変だよな？」と読者にも感じさせる。

### \*\*Image Prompt (Page 6)\*\*

`office environment, male architect returning with uneasy expression, two newcomers slightly suspicious, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島が席に戻る。橋と白石が声をかけるが、鹿島は素っ気ない。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橋\*\*: 「お疲れ様です、鹿島さん。さっきのAI案件…あれから進展あったんで——」
  - \*\*鹿島\*\*: 「悪い、後にしてくれ…。ちょっと忙しい。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 鹿島がスマホを握り、焦った顔を一瞬見せる。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*白石 (内心)\*\*: 「(うっ…何か深刻そう。どうしてこんなピリピリしてるんだろ?)」

#### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 2人で顔を見合わせる。遠景に鹿島の背中。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*橋 (小声)\*\*: 「ねえ、白石さん…鹿島さん、やっぱり最近おかしくない？」
  - \*\*白石\*\*: 「うん…何か抱えてるみたい。」

---

## \*\*Page 7\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: CIPHERが外部情報を得て、オルビス・インシディアが日本IT基盤を狙っているらしい事を月城に報告。
- \*\*目的\*\*: 国家レベルの陰謀がより明確化。リヒト・ヴァイスやカトリーヌの名前が出るかもしれない。

### \*\*Image Prompt (Page 7)\*\*

`office corridor, male leader informing female engineer about global threat, tense conversation, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERと月城が廊下で立ち話。資料を手に持っている。

2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*CIPHER\*\***: 「海外の投資ファンド“グローバル・ゲートウェイ”が実は“オルビス・インシディア”の表向きの顔らしい…。」
  - **\*\*月城（深刻）\*\***: 「やはり…国家規模の陰謀ってこと？」

#### **\*\*Panel 2\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:
- 1. **\*\*構図\*\***: 過去のニュース記事や暗号化されたファイルをCIPHERが示す。
- 2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*CIPHER\*\***: 「ヨーロッパでも同じ手口でIT企業が乗っ取られた事例がある。彼らは日本のDX推進を妨害したいのか、あるいは技術だけ奪いたいのか…」
- **\*\*月城\*\***: 「鹿島くんの動きとも関係してるのかしら…」

#### **\*\*Panel 3\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:
- 1. **\*\*構図\*\***: CIPHERが沈黙。月城がさらに踏み込む表情。
- 2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*月城\*\***: 「…鹿島くんがここに来たのも、何か理由があるの？」
- **\*\*CIPHER（曖昧に）\*\***: 「わからない。ただ、目を離せないな。」

---

## **\*\*Page 8\*\***

**\*\*Number of panels\*\***: 3コマ想定

### **\*\*Page Story（概要）\*\***

- **\*\*場面\*\***: 橘と白石が独自に鹿島の様子を探っているとき、和菓子店やスタートアップだけでなく“他の大企業”でもDX推進案件が不審な動きを見せているニュースを目にする。
- **\*\*目的\*\***: 敵組織の攻撃範囲が広がっている事実を伝え、危機感を加速。

### **\*\*Image Prompt（Page 8）\*\***

`office corner, news broadcast on screen, two newcomers in partial shock, mention of multiple dx project failures`

#### **\*\*Panel 1\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:
- 1. **\*\*構図\*\***: 橘&白石がデスク脇の小さなモニターでニュース速報を視聴。
- 2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*TVアナウンサー\*\***: 「〇〇企業のDXプロジェクトがデータ障害で一時停止。原因はセキュリティ侵害か…」
- **\*\*白石（驚き）\*\***: 「また…こんな大企業まで…？」

#### **\*\*Panel 2\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:
- 1. **\*\*構図\*\***: 橘がニュース記事をスマホで確認。
- 2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*橘\*\***: 「こっちは市役所のDX化も遅れているって記事だ…。何か大きな力が働いてるとしか思えないな。」

#### **\*\*Panel 3\*\***

- **\*\*ネーム\*\***:
- 1. **\*\*構図\*\***: 2人の背後を通り過ぎる鹿島の姿。視線を合わせない。
- 2. **\*\*セリフ\*\***:
- **\*\*白石（心の声）\*\***: 「（鹿島さん、何か知ってるなら教えてほしいのに…）」

---

## **\*\*Page 9\*\***

**\*\*Number of panels\*\***: 3〜4コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: CIPHERがついに鹿島と二人きりで対峙。「何を隠してる？」と問い詰めるも、鹿島は曖昧にかわす。
- \*\*目的\*\*: 両者の衝突が初めて形になる。読者に「鹿島は裏切ってる…けど事情がある…」というジレンマを印象付ける。

### \*\*Image Prompt (Page 9)\*\*

`office hallway or small meeting room, male leader confronting male engineer, tension and conflict, anime style`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが廊下で鹿島を呼び止める。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER (低い声)\*\*: 「鹿島…ちょっといいか。」
  - \*\*鹿島 (気まずそう)\*\*: 「…なんだ？」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 二人が向かい合う。CIPHERの鋭い眼差し、鹿島は目をそらす。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「お前、何か知ってるんじゃないか？ 今の一連の問題の裏にあるものを…」
  - \*\*鹿島 (振り切るように)\*\*: 「知らない。勘繰りすぎだろ。」

#### \*\*Panel 3\*\* (optional 4コマ)

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: CIPHERが一瞬、鹿島の右腕を掴むが、鹿島が振り払う。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*CIPHER\*\*: 「本当に…それだけか？」
  - \*\*鹿島 (怒り)\*\*: 「放っておいてくれ…！」
  - \*\*モノローグ (ナレ)\*\*: 「二人のあいだに、不穏な緊張が走る…」

---

## \*\*Page 10\*\*

\*\*Number of panels\*\*: 3コマ想定

### \*\*Page Story (概要)\*\*

- \*\*場面\*\*: エピローグ。海外の本拠地（リヒト、カトリーヌなど）が登場し、日本ITの重要案件を連続攻撃する計画の一端を会話で見せる。
- \*\*目的\*\*: 第4話を“国家陰謀”へ段階進めるクライマックスにし、次回に向けたサスペンスを盛り上げる。

### \*\*Image Prompt (Page 10)\*\*

`overseas luxurious office or hidden lair, silhouettes of multiple antagonists discussing infiltration of Japan's it, anime style, ominous`

#### \*\*Panel 1\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: リヒト・ヴァイス（ヨーロッパ風の男性）とカトリーヌ・スレイド（投資家）が会話。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*リヒト\*\*: 「AIベンチャーの技術は手に入ったか。次は官公庁DX…日本の基盤を揺るがす。」
  - \*\*カトリーヌ (微笑)\*\*: 「投資家ネットワークを通じて、さらに弱点を突くわ。利益は計り知れないものになる。」

#### \*\*Panel 2\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: 周 天慧（穏健派）やアリサ・ミュラーの姿も見えるか、あるいは宗方の名前が出る。
2. \*\*セリフ\*\*:
  - \*\*アリサ\*\*: 「エンジニアから家族を人質に取れば、情報は容易く流れてくる…」
  - \*\*周 (黙り込む)\*\*: 「……………」 (葛藤を示す沈黙)

### \*\*Panel 3\*\*

- \*\*ネーム\*\*:

1. \*\*構図\*\*: リヒトの顔アップ。冷酷な笑み。

2. \*\*セリフ\*\*:

- \*\*リヒト\*\*: 「さあ、“見えない敵”はますます日本を蝕んでいく。その中心にいる男…CIPHERだったか？ ふふ、面白くなってきた。」

- \*\*モノローグ（ナレ）\*\*: 「国家を揺るがす陰謀が、静かに、しかし確実に動き始めていた…」

\*\*（Optional）次回予告風\*\*:

> \*\*「鹿島の苦悩と、オルビス・インシディアの加速する攻撃… CIPHERの過去、そしてチームの絆はどうなる!? 次回、第5話『裏切りの代償』へ——」\*\*

---

# \*\*まとめ\*\*

- \*\*第4話\*\*は「見えない敵」というテーマの下、\*\*複数企業のDXプロジェクトへの攻撃\*\*が明確化し、\*\*鹿島の裏切り\*\*が本格的に示唆される回。

- \*\*CIPHERのCIA時代\*\*と\*\*オルビス・インシディア\*\*の深い因縁がちらつき、物語が“国家レベルの陰謀”に近づく。

- クライマックスでは敵陣が登場し、日本IT産業への大規模破壊計画が進んでいることを読者に示す。

- 最終的に読者へ「次はもっと大きな衝撃が来る…」というワクワクと不安を持たせる構成。